

1. 授業の概要

この授業では、現代世界を特徴づけるキーワードの1つはグローバル化であり、国家間の相互依存度は深まり、新しい世界像に対する理解は益々重要になってきたという現状を踏まえながら、主題図を用いながら、世界の地誌を読み解く手がかりを事例地域の分析によって探ること、国際化の時代に必要とする地理的教養を身につけることを目的とした。

そして、①世界の主な地域の地域特色を理解すること、②様々な主題図を読み解く力を高めること、③世界地誌の中における日本の地域性を説明できること、を到達目標とした。

授業のスケジュールは次の通りであった。第1回 ガイダンス、第2回 世界地図を読む、第3回 人口分布から見た世界、第4回 石油資源から見た世界、第5回 グループ発表と討論、第6回 北アメリカ、第7回 ヨーロッパ、第8回 ロシア、第9回 アジア、第10回 グループ発表と討論、第11回 アフリカ、第12回 南アメリカ、第13回 オセアニア、第14回 グループ発表と討論、第15回 まとめ及び期末試験。

2. 授業評価の方法

この授業の履修登録者数は21名で、単位取得者数は19名であった。

本年度は学生の表現力つまりプレゼンテーション能力の向上を目標の1つとして、模擬授業の形式でそれぞれ異なるテーマを発表してもらって、それについて参加者全員の質問や感想を提出させた。これらの質問に対する発表者の回答を翌週の授業で全員を共有した。

授業の効果について、自由記述方式で学生に意見やコメントを求めた。2009年2月4日(水)1講目の授業の中で実施した。受講生から次のコメントと課題を提出した。

3. 授業評価の結果

学生のコメントをそのまま掲載する。次年度の授業改善に活用したい。

みんなの授業を見ていて、自分にもできて

いないところや新しい気付きがたくさんありました。自分で授業を見てもらう機会はまだないので、指摘された点は自分の中で直していきたいと思います(N.K.)。

この授業を通して学んだことは、相手に伝えることの難しさです。調べた資料をどういう方法で、どこまで提示するか、自分なりに考え、実践できたと思います(H.R.)。

個性豊かな模擬授業が見られて、とても楽しく学ぶことができました。授業内容を自分の興味・関心から選択して、学びを深めることが出来たので、研究も意欲的に取り組むことが出来ました。楽しかったです(N.A.)。

模擬授業をとおして、さまざまな勉強ができました。私だけ教育実習に行ったことがなく、当初は不安もありましたが、最後はとても有意義に感じています(Y.G.)。

授業を一人一人つくったので、様々な内容に触れることができて楽しかったです。自分の授業を作る際に、教育実習での経験を生かして、久しぶりの授業作りだったし、小学校実習の人の授業も見れてよかったです()。

この授業を通して、まず、自分で授業を行ったことから、「改めて授業をすること、考えることの難しさ」を、他の人の授業を見るということから、「他人の授業のよさや、改善点を見つける目を養う」という技術を学べたと思います(T)。

この授業を通して世界の全てを分かったわけではないのですが、世界でどのような問題が起きていてどのような対策がされているのか。また、どのようなことが課題なのかということが分かりました。それを生かしこれからの自分が何をすべきかということも学ぶことができました(M.R.)。

この授業を受けて勉強になったことは中学対象の地理の授業づくりをしたことで授業構成の仕方、教授方法について学ぶことが出来たことである。教育実習は小学校だったので中学の内容に触れることが出来てよかった。また、他の人の授業を受けることでいろいろな教授方法や学習方法を学ぶことが出来、視

野が更に広がった。いい経験になりよかった (AM)。

今回は、一人ずつが世界の地域問題についての授業を行っていき、授業後に他の生徒からのコメントがもらえるということだったので、自分では気づけなかった観点に気づくことができ良かったと思う。ただ、先生からのコメントが少しだったので、もう少しただけたら良かったと思う。あと、今回は中学生対象のはずだったのだが、途中でそれが曖昧になっていたのも、そこはみんなで統一させてほしかった (K. M.)。

世界地誌の授業で、専門的な内容を相手に分かるように伝えることの難しさを改めて感じました。対象が大学生だからこそ大概のことは理解してもらえなければならないけれど、もしこれが中学生だったら自分が当たり前なこと相手には伝わらないと思います。「伝えかた」の工夫をこれから意識したいと思いました (T.Y.)。

この授業を通して、まず、自分で授業を行ったことから、「改めて授業をすること、考えることの難しさ」を、他の人の授業を見るということから、「他人の授業のよさや、改善点を見つける目を養う」という技術を学べたと思います (T.S.)。

今回の授業では、世界の地域問題について総合的に楽しく学ぶことができました。授業の最初に行っていた前回のコメントの振り返りみたいところはあまり必要ないと感じました。授業二つを早めに始め、余った時間で先生のコメントなり、質疑応答なりに時間を割いてほしかったです (I H)。

実習後に、この講義を通して初めて中学校での授業を想定しての模擬授業を行い、また見ることができました。地理における生徒への発問の仕方や説明の仕方、資料の提示方法などについて、中学校組の人や他の受講生から学ぶことができました。この学びを社会科の授業や教材研究に生かしたいです (Y.O.)。

世界地誌の授業では、受講生に対して受講生が各テーマを担当して毎回の授業を進めるので、聞き手として学習内容に取り組みやすく、意欲的に理解を深めることができました。また話し手としても『教える』という立場だったので、みんなにわかりやすく伝えるように教材研究を進める中で、担当テーマをより深く学ぶことができました (O. S.)。

この講義は友達が考えた授業を受けるとい

う内容だったので、先生の講義を受ける形式よりも聞く姿勢がよくなったのではないかと思います。また、実際に授業をして、伝えたい内容を伝えるように説明する難しさを感じることができた (O.A.)。

今回の授業では興味のある内容がたくさんあった。その為たくさんを知れた。また、授業を行うことで工夫することがたくさんありかなり勉強になった。難しい内容を中学生がわかるように説明するのは大変難しいが、そういった能力がさらに必要だと感じた (M.U.)。

今日は最終の授業にも関わらず体調が優れず欠席してしまいすみませんでした。世界地誌の授業を受けての感想は...模擬授業が難しかったです。受けている時は楽しく、社会科の授業はこうやって構成されているのだなと感じながら受けていたのですが、いざ自分が展開すると、やはり体育の授業と勝手が違い戸惑うばかりでした。自分の実践力のなさを痛感し、大変勉強になりました ()。

先生の講義だけでなく、各人が実践的な授業をしたという点と、授業後にももらったコメントに対して授業者が返事をするという点が良かったです。コメントはそれだけでも授業者にとっての新たな気づきになるが、言葉を返すことによって自分の中にさらに強い決意となって今後活かされるので非常に効果的であったと思います (K.Y.)

学生が実際の模擬授業を行って、教師としての技能を向上させることができたと思う。教育実習に行ったことを踏まえながら世界の諸事情についての知識を深めることができた。学生によって授業に個性が出るので刺激にもなったし、自分も取り入れたいものなども数多く見られた (F.H.)。